

「不要品」を
活かす

保険業

災害備蓄品を大量に買取

事例

21

水や非常食、帰宅用の折り畳み自転車 寝袋等災害備蓄品一式を買取・処分



産業廃棄物中間処理業務の
包括契約の下、本案件も発生

解決

約 100 の各支社が管轄する各営業所に配布していた災害備蓄品の多くが残置物となり、当社が災害備蓄品を置いてある棚等の什器も含め撤去・買取することとなった。

自社便で撤去・回収したモノは下記。

- | | |
|-----------|--------------------|
| ① 水 | 約 3,000 ℓ |
| ② 非常食 | 約 4,000 パック |
| ③ 寝袋 | 約 100 個 |
| ④ 折り畳み自転車 | 約 100 台 (帰宅や拠点連絡用) |
| ⑤ 携帯トイレ | 約 10,000 個 |
| ⑥ 軍手 | 約 1,000 組 |
| ⑦ ヘルメット | 約 1,000 個 |
| ⑧ ライト | 約 1,000 個 |
| ⑨ 文房具 | 約 500 セット |
| ⑩ 紙コップ | 約 5,000 個 |

ヘルメットやライトなどは廃プラスチックとして処分。折り畳み自転車などは鉄の原料として再利用するマテリアル処分。

この他、全国に点在する支社からは来客用のカウンターテーブルや会議室の机・椅子等も同時に引取り。

検討課題

約 900 拠点ある大手生命保険会社。支社が営業所の備蓄品を配布・集中管理していたが、消費期限が迫っていたモノもありこの機に今後は拠点毎に管理し、古いモノを一斉に廃棄する事になった。

食品以外にも災害時用のヘルメットや移動用自転車など処分する物が多く、一括で処理してくれる業者を探していた。

各支社、各営業所には
大量の消費期限間近の災害備蓄品



消費期限が迫る
水約 3,000 ℓ



寝袋も回収



不要となった
折り畳み自転車

POINT

1. 災害備蓄品買取
2. 包括契約
3. 食品・自転車